

## 西洋美術史入門b

ヨーロッパ美術の展開：ルネサンスからバロックへ

(1年 後期 2単位)

駒田 亜紀子

### 授業のテーマ・目標

西洋美術史入門bでは、入門aに続き、近世黎明期から革命期までの美術の歴史的展開を、各時代の代表的な絵画作品の解説を軸に、時代順に概観する。あわせて、美術作品の表現媒体・形式や「用途」、あるいは作品の伝えようとする意味内容や美意識そのものが、それを生みだした時代・地域の歴史的・文化的な状況と密接に関わっていたことを、理解する。この授業では、ルネサンス初期から革命期までの400年余に及ぶ美術の歴史を駆け足で概観するため、それらのすべてを汲み尽くすことは難しい。授業で取り上げた作品を通じて、これらの背後に横たわる豊かな広がりを知る端緒として欲しい。

### 授業の内容

1. ガイダンスおよび西洋美術の時代区分について
2. イタリア初期ルネサンス美術：  
マザッチョとフラ・アンジェリコ
3. イタリアの盛期ルネサンス美術 1：  
ポッティチェリとレオナルド
4. イタリアの盛期ルネサンス美術 2：  
ラファエロとミケランジェロ
5. イタリアの盛期ルネサンス美術 3：  
ティツィアーノ、ティントレット、ヴェロネーゼ
6. アルプス以北のルネサンス美術 1：  
ヤン・ファン・アイクとヒエロニムス・ボス
7. アルプス以北のルネサンス美術 2：  
デューラー、ホルバイン、クラナハ
8. アルプス以北のルネサンス美術 3：  
ジャン・フーケとアンゲラン・カルトン
9. イタリアのマニエリスム美術：  
ボントルモとブロンツィーノ
10. アルプス以北のマニエリスム期の美術：  
ピーテル・ブリューゲルとアルチンボルド
11. イタリア半島におけるバロック美術：  
カラヴァッジョ、ニコラ・プッサン
12. イベリア半島におけるマニエリスムとバロック美術：  
エル・グレコとベラスケス
13. 北方のバロック美術：  
ルーベンス、レンブラント、フェルメール
14. ロココと革命期の美術：  
ヴァトー、シャルダン、ゴヤ
15. まとめ

### 準備学習

授業時に配布するプリントには、次回内容が含まれている。授業前に必ず読み、内容を把握しておくこと。

### テキスト・教材

テキスト（教科書）は使用しない。適宜プリントを配布するが、授業中に各自が講義ノートを作成することが不可欠である。

### 成績評価の方法・基準

授業態度10%、授業終了時の感想文20%、定期試験70%の比率で評価する。

### 参考書

『西洋美術館』(小学館 1999年)

E.H.ゴンブリッチ、天野衛ほか訳『美術の物語』(ファイドン 2007年)

『指定図書』

### 注意事項

授業は、デジタル・スライドで提示する美術作品や文化史跡の画像に解説を加えながら、進める。講義中に提示する美術作品等の画像のサムネイルのプリントアウトは配布しないので注意すること。西洋の歴史に関する基礎知識（高等学校で履修した世界史の知識）を確認しておくこと。普段から美術全般に関心を持ち、西洋美術関連の展覧会等を積極的に見学することが望まれる。また、授業時には当日以降の授業内容もまとめたプリントを配布するので、授業の予習・復習に活用してほしい。